



発行所 今井印刷所 印刷 公民館 東白川村 岐阜県加茂郡

36年度予算 一般会計は三千万円 分收造林会計を設定

昭和三六年度の本村当初予算は、去る三月二十五日から開催された会期六日間の村議会に於て可決されました。今年度の予算編成にあたっては、従来の本村財政の伝統にもとつて、健全財政の確立を建前として慎重に立案審議された結果、総額三千万円という数字になりました。これは前年度当初予算額に比べて約八百万円の増加となっております。

今年度当初予算は従来より八万円、診療施設勘定に九り大中に増加し、はじめて九八万円の予算が計上され三千万台という数字を記録しました。もう一つの特別会しました。これは人件費計である公益質舗会計は昨の増加と、従来追加予算に年より二千万増の四八万八計上された経費でも通千円が計上され、予算総額常経費は当初に繰入れたたでは約四千七百万円となつて、予算内容は一段と適て昨年より一千万近い増加正化したものと言えます。更今年度は分收造林に關する特別会計を設定し、六五万円を計上して本村独自の分收造林事業の推進を図る事になりました。なお国民健康保険会計については、事業勘定に五九

分收造林特別会計

Table with 4 columns: 科目, 予算額, 科目, 予算額. It details income and expenses for the special forestry account, totaling 650,000.

昭和36年度東白川村当初予算

Main budget table with 4 columns: 科目, 予算額, 科目, 予算額. It lists various municipal expenses and revenues, totaling 30,000,000.

「全戸に有線放送を」

実施体制とこのう

有線放送電話とは、放送されて参り、既に県下にもと電話を兼ねた一本の線に四十四カ所が施設し、更によつて全戸をつなぎ、日常生活を明るくし、交通文化はもとより経済的にも恵まれない農山村の今後の発展を期す上になくはならぬい施設として認められて来ました。国に於ても三十一年以來農山村振興施設として奨励

利用施設としての効果と、今後の運営の円滑化を期すべく、過般組長、改良組合長さんを始め村内各組織団体代表者によつて、東白川村有線放送電話建設協議会を組織し、この協議会が主体となつて部落座談会並に懇談の機会を設け、村の方針、計画内容の説明を行い、全戸加入についての御協力をお願いして参りました。その結果第一次加入申込みとして六〇%近い御賛同を得る事が出来ました。しかし乍らこの施設は村

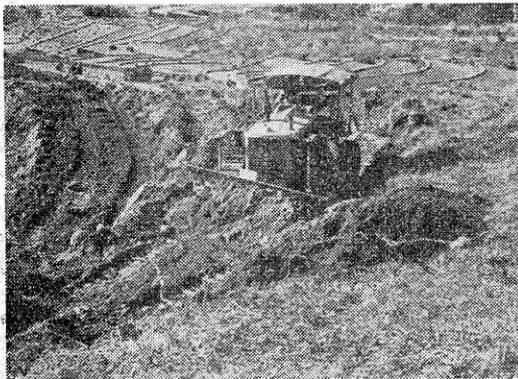
ります。内全戸の方に御加入願つてこそ、一〇〇%の効果が得られるものであり、村長方電話設置に針としてもこの点が特に要望されておるのであります。斯様な事から今後全戸に加入願える様な方法について、農協と更に村当局、村議会の御指示と御配慮をお願いするとして計画と共に計画内容を検討し出る限りに加入者負担の軽減に努め、又村民相互の助け合いと協力体制により設置計画の促進を図り早期着工早期完成へと進みたいと念願して参ります。特に本村の施設は単に今年中に電話局の昇格が予定されておりこの機を造設として、全戸を対象とした有線放送電話の設置は法的制限により将来共不可能なる情勢にあることも充分御理解願つて未加入者各位の早期御加入をお願い申し上げます。何卒皆さんに於かれまし加入が出来ますよう御協力を願わくばこの施設が全戸加入によつて、村民の有線放送電話として、明るい、希望ある村造りの原動力となる日の一日も早からん事を皆さんと共に期待するものであります。(有線事務局)



▷企業として成り立つ農業を◁

今ある畑でさえ手が廻らず草が生えているのに、これ以上畑を増したらいへんだと考える人も多いだろう……農業収入を増大するには、畑の利用の形を改めることがまず必要です。

いつまでも豆や麦ばかり作るのではなく、金になる作物を栽培することが急務です。集団茶園や桑園の開墾はこのような考えの上にたつて進められているわけで、集団的に農地を造成して共同で管理し、合理的な生産を上げる体制をとることになります。共同でも個人でも、このように桑とか茶樹などの比較的安定した換金作物を経営の主体として取り上げ真剣に取りくんで行こうとする心構えが一番必要でしょう。

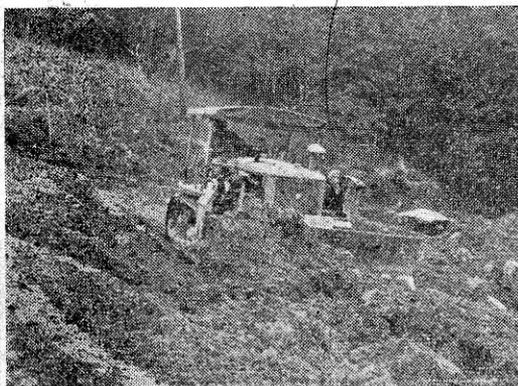


抜根〔黒淵地区茶園〕

木の切株や草の根などを押して低い所へうめる作業。ブルドーザーによる開墾はこの作業から始まる

耕起〔西洞共同桑園〕

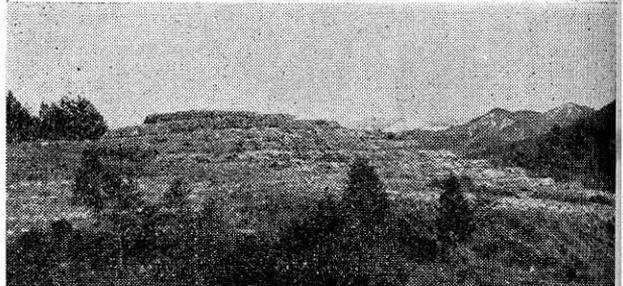
抜根したあとを、堀り起しながら後退する。これで耕土の深さは約50センチとなる。



新
しい農業への道

集団茶園、桑園の開墾を終つて

新農村計画による、昭和35年度の特別助成事業として実施された集団茶園造成事業は、ブルドーザーによる開墾を終つて三月末日までに苗の植付けを完了したわけだが、この事業の実施をきっかけとして、昭和36年度は村内各所の道路工事や開墾計画をまとめて、機械力によつて実施しようという気運が高まっている。新しい農業の方向に適合した農地の集団化、農林道の整備などの建設事業促進のために、今回の開墾の結果をふりかえつてみよう。



▷反当造成費用は約38,000円◁

今度の茶園、桑園の開墾は県開拓連合会のブルドーザーで行いました。35年12月13日から36年2月28日までの間に開畑6町4反、農道1526mを造つたわけですが、開畑の方法については山林ならまず立木雑草などを伐開します。あとはブルがすべてやってくれます。30度以上の傾斜地でもテラス（段々畑）にするので立派な畑になります。（上の写真は神付地区のテラス）ブルドーザーの1時間当単価は、燃料諸経費をふくめて約3,000円、1反当の所用時間は平均4時間半ですから、反当開墾費は13,500円程度になります。道路は100m当所要時間5時間で約15,000円程度です。集団茶園の場合の反当造成費は下の表のようになります。

工事種類	数量	金額	備 考
伐木除石	1 反	2,000	5人×400円
開 墾	1 反	13,500	ブル4.5時間×3,000円
苗 木	1 反	6,750	単価 4,5円
植 栽 費	1500本	10,000	植溝堀りその他25人
肥 料	1 反	3,000	
雑 費		3,000	
計		38,250	

農地の造成や道路工事にはもちろんかなりの資金が必要ですから、できるだけ共同で行うことが望ましいわけです。特に桑園の場合は飼育計画に関連して、共同桑園——共同飼育という一貫した態勢がとるのえば最も理想的でしょう。茶園開墾の場合は反当四千円の県費補助をうけることができます。その他融資の方途もありますから急激に資金負担のかからないよう考慮するわけですが、いずれにしても今までの農業の形から脱してある程度の投資をして企業としての農業を確立させることが目標でなければなりません。そのような気持で真剣に農業を経営しようとする人達こそ新しい農業への道は開けるのだと言えましょう。

引き続き優勝の栄誉

消防操法競技大会

第六回加茂郡消防操法競技大会は、去る三月十七日坂祝村小学校々庭で行われ、またが加茂郡下七カ町村の自動車ポンプと可搬動力ポンプの中にあつて、伝統と団結と優秀な技術をはこぶ、本村消防団は、自動車ポンプの部で優勝し、可搬動力ポンプの部では第一分団が五位に入賞しました。続いて三月二十四日、美濃加茂市菅グランドで行われた第一回中濃プロツク消防操法競技大会においても、三市四郡から選抜された強豪チームにまじつて出場した本村消防自動車は再び優勝の栄誉をかくとくし、中濃

移動県庁 四月に開設

岐阜県が昭和三五年度からはじめた新しい試みの「移動県庁」が本村で開かれることになりました。期日は四月二十六日の予定で、細部についてはまだ未定ですが、県政を行うにあつて

東白川村青年建設班は、去る二月一八日に終了式を行い、第一期の合宿生活を打ち切つていたが、その後、県単治山事業の砂防工事に協力し、三月六日から久須見の工事現場へ、各家庭から通つてゐる。

青年建設班の【その】【後】

目的は単に実施期間の学習だけとなることであり、その意味で今回の公共事業への参加は大きな意義をもつものといえます。新しい年度を迎えて、村では更に発展した青年活動への基礎とするよう、第二期の実態を検討してゐます。

て、県民の声を聞き、生活の中から生れた意見や願い事を反映させると同時に、県の方針や政策を理解してもらおうという目的で行われるもので、知事をはじめ部長長などの要職者が出席し、参会者の質問に答えた話し合つたりするわけですから、すでに県下数カ所で開催され好評を博しているのその成果が期待されま

手数料が五〇円 になり

村条例の改正により手数料が現行の三〇円から五〇円になり、昭和三十六年四月一日より施行されます。該当する主な手数料は次の通り。

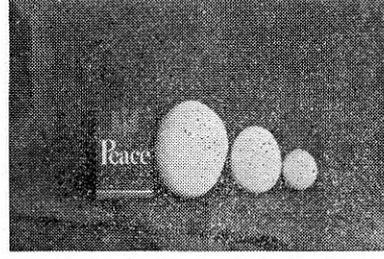
- 印鑑証明、身分年令氏名の証明、住所所在地の証明
- 出生死亡結婚相続の証明、法人の証明、営業職業の証明、転出証明、予防接種の証明、文書受理の証明、公簿公文書等の閲覧、その他

卒業式

三月は年度変わりであり、卒業、就職、人事異動など公私両面であつたらしい月ですが、思い出多い九年間の学窓に別れを告げる中学校卒業式は去る三月一〇日に行われました。総数七六名の卒業生達は、先生や下級生達のはげましの言葉におくられて、社会という大きな機構の中で、小さな個

春の話題

大中小の真ん中が普通、卵もたまご。春ともなうが普通、卵もたまご。



人としての役割を果すべく各地へ散つて行きました。中学卒業生達の動向は、よくその年の社会的条件を最も反映するものとして注目されますが、今年の卒業生は本・分校合せて七六名、その内進学するもの七名、職業訓練所へ進む者六名、職名、在村する者はわずかに五名(男四、女一)という数字になつてゐます。在村するものも、ほとんどが長男であり家の仕事にたずさわる一方、加

公演会から春が来る……とのキャッチフレーズで本村の年中行事になつてゐる青年団公演会は、今年から合同で越原一九日、神土二日、二の二回にわたつて開催された。戦後すでに一六回古い伝統の中に育つて来た公演会に新しい照明をあてようと、今年コンクール

過去三回の国勢調査人口

昭和三〇年	五〇九五人
昭和三五〇年	四七二六八
昭和三五〇年	四七二六八

最近の人口動態の特徴として在村青年が少いという事実を裏付けるような数字は、農村としての村の将来に大きな意味を持つものと考えられます。過去三回の国勢調査による本村の人口は次のようになりませんが、特に最近の五カ年に急激に減少していることは、農村の余裕余力が主として工業のために吸収されて工業の急な発展に歩調を合せているのを示していると言えます。

形式を取り入れて行われたので、審査にあつた村内外の諸先生、公演会に感心を次に対する総合的か、演技はその役に対する踊り下げた把握がなされ、表現に研究努力がされてい

個人演技 安江千恵子 風の中(妻) 村松次郎 お総領(弟) 安江千恵子 風の中(妻) 村松次郎 お総領(弟)